

プロジェクト名：IPv6プロジェクト

参加機関：山形大学工学部、慶應義塾大学ITC本部、東北公益文科大学
 (株)ケーブルテレビ山形、(株)ニューメディア

プロジェクトの概要：

さまざまな機器のインターネット接続を想定し、IPv6への期待が高まっている。CATV網では家庭機器の接続がごく自然に始まる可能性がある。将来の展開に備えた技術開発と実証実験を、JGN及び山形県基幹高速通信ネットワークを利用してもらいながら、3大学と2CATV網の連携により、行っている。全体としての目標は、IPv6ネットワーク構築を行いながら、そのアドレス空間の効果的な活用法を開拓することである。

活動状況：

以下を具体的目標に実証的な研究を行っている。(1) IPv6化したH.323ビデオ会議方式の活用を行いながら、IPv6のマルチメディア通信応用としての活用・展開を図る。(2) IPv6アドレスのホスト指定部分に電話番号を埋め込み、電話網を仮想的にインターネットに吸収する仕掛けを開拓する。(3) 同一目的地に対して複数の経路を用意し、その経路選択をIPv6アドレスのネットワーク部分で指定することで、セキュリティ・プライバシー・伝送のQoSを実現する方法について検討する。

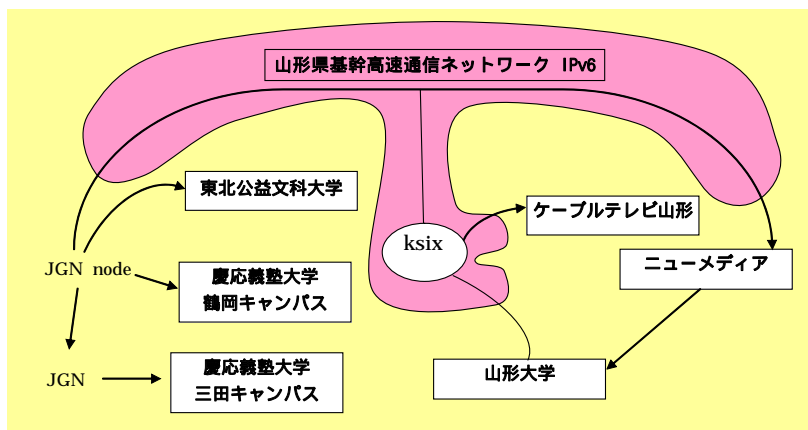


図1 共同研究ネットワーク構成図

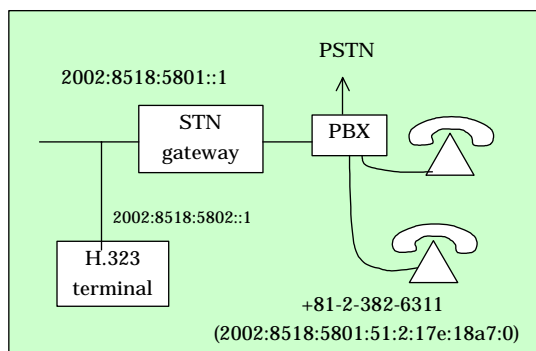


図2 電話をIPv6アドレスで呼び出す

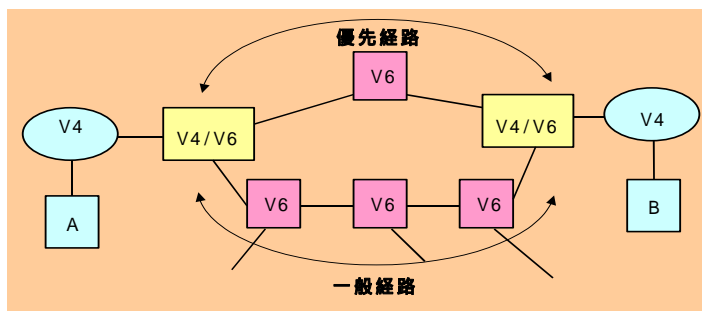


図3 IPv4送信元アドレスを含むIP経路データで経路制御を行う

Network prefix	SRC V4	DST V4
----------------	--------	--------

図4 IPv4アドレスのIPv6アドレスへの埋め込み方法

(問い合わせ先：zioi@yamagata-u.ac.jp)